「統一的な基準」に基づく財務諸表の公表（令和３年度決算）

総務省から示された「統一的な基準」に基づき、企業やその他の法人で広く採用されている会計手法（複式簿記）による向日市の決算書類として「財務諸表」を作成しました。

財務諸表から得られる財政指標を用いて、向日市の財政状況についての分析結果を公表します。

一般会計財務諸表の概要

１　貸借対照表（ＢＳ）

資産　計	608億77百万円	負債　計	198億91百万円
固定資産	566億63百万円	固定負債	180億29百万円
うち償却資産評価額	300億55百万円	流動負債	18億63百万円
うち減価償却累計額	181億13百万円	純資産	409億85百万円
流動資産	42億14百万円		
うち財政調整基金等	24億 2百万円		

２　資金収支計算書（ＣＦ）

業務活動収支	26億65百万円
投資活動収支	▲15億36百万円
財務活動収支	▲ 3億 3百万円
本年度資金収支	8億26百万円
前年度末資金残高	9億 8百万円
本年度末資金残高	17億34百万円

※　本表の詳細版及び連結財務諸表等もホームページ等で公表していますので、あわせてご覧ください。

３　行政コスト計算書（ＰＬ）・純資産変動計算書（ＮＷ）

経常費用	207億 2百万円
経常収益	4億69百万円
純経常行政コスト	202億33百万円
臨時損益	▲23百万円
純行政コスト	202億56百万円
財源　税収等 補助金	141億52百万円 82億46百万円
その他純資産変動額	2億93百万円
本年度純資産変動額	24億34百万円

財政状況の分析結果

分析の着眼点		指標等
【資産形成度】	将来世代に残る資産はどのくらいあるか	・有形固定資産減価償却率：減価償却累計額÷償却資産評価額＝60.3%
【世代間公平性】	将来世代と現世代との負担の分担は適切か	・将来世代負担比率：負債÷資産＝14.2%
【持続可能性】 （健全性）	財政に持続可能性はあるか （どのくらい借金があるか）	・基礎的財政収支（プライマリバランス）： 業務活動収支＋投資活動収支＝24億62百万円
【効率性】	行政サービスは効率的に提供されているか	・市民一人当たり純行政コスト（R4.1.1現在57,116人）：35万5千円
【弾力性】	資産形成を行う余裕はどのくらいあるか	・参考　…　経常収支比率87.5%（地方財政状況調査から引用） （財務諸表を用いた指標の算出方法について引き続き検討）
【自律性】	歳入はどのくらい税金等でまかなわれているか （受益者負担の水準はどうなっているか）	・受益者負担の割合：経常収益÷経常費用＝2.3%